須賀川市立第一小学校　学校だより　No.5　　令和　4年　7月20日

桜　水 2022

学校内の草花（７月）

【教育目標】　何事にもすすんで取り組み、気概をもって立ち向かう、心豊かな児童の育成をめざす

○　心の豊かな子ども（交流）　　○　健康でたくましい子ども（挑戦）　　○　意欲的に考える子ども（自立）

- ごあいさつ -　　第一学期の終了にあたって

暑い日が続きます。皆様におかれましてはますますご健勝にてお過ごしのこととお喜び申し上げます。

さて、4月6日にスタートした令和4年度の教育活動も本日、7月20日の終業式をもちまして無事第一学期を終了することができました。感染症の心配が続く中、今学期、登校日は本来、71日間あったわけですが、臨時休校や学年、学級閉鎖などもあり教育活動が計画通り進めることができるか心配な時期もありました。そのような中、運動会をはじめとする各行事ができたことを嬉しく思う一方で、2回計画していた授業参観が実施できず心苦しく思っております。

おかげさまで、大きなけがや事故もなく514名の子ども全員が元気に過ごすことができました。これもひとえに地域の皆様、保護者の皆様の子どもへの温かい励ましのおかげと心より感謝申し上げます。

長い夏休み、子どもには規則正しい生活を送ると同時に、たくさんの思い出をつくってほしいと願っています。けがや事故、健康については学校で十分指導し、どの子も楽しい夏休みを過ごせるよう万全を期しましたが、「危険」と思ったら、ぜひ子どもにあたたかい一声をかけてくださいますよう、保護者の皆様、地域の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

須賀川市立第一小学校長　菅野　哲哉

明日から夏休み　「お手伝いをしよう」「あいさつをしよう」「けがや事故、健康に気を付けよう」　―第一学期終業式―

終業式は校内放送で実施しました。下記の話をしましたので、ご家庭でもぜひ話題にしていただきたく思います。また、代表で３年　澤田　詩さんが「一学期の思い出と夏休みの楽しみ」について発表しました。

終業式校長あいさつ（抜粋）

今日で一学期が終わりです。１年生もすっかり学校に慣れました。２年生から６年生までの皆さんは一つ学年があがり、すっかりお兄さん、お姉さんらしくなりました。特に6年生の皆さんはさすが学校の最高学年です。日頃の生活や学習の様子をとても頼もしく感じています。

明日からの夏休みを皆さんも心待ちにしていたと思いますが、三つお願いしたいことがあります。

一つ目は、**「お手伝いをしよう」**ということです。

ぜひ家族の一員としておうちのお手伝いをしてください。新聞を郵便受けからとること。食器洗い、お風呂や玄関の掃除、犬の散歩、何でもいいです。続けて頑張りましょう。

二つ目は、**「あいさつをしよう」**ということです。

人と心と心を通い合わせるために一番最初にすることは「あいさつ」です。「おはようございます」「こんにちは」「さようなら」「おやすみなさい」をきちんと言いましょう。「ありがとうございます」「ごめんなさい」が言えるととても立派です。大切なことですので忘れないでほしいです。

三つ目は、**「けがや事故、健康に気を付けよう」**ということです。

友達と遊んだり家族で出かけたりすることもあるかと思います。交通事故や水や火などに関係する怪我には十分注意してほしいと思います。　また、感染症も心配な状況が続いていますので、予防に努めてください。

明日から35日間の夏休みです。楽しい思い出をいっぱい作ってください。二学期、８月２６日にまた全員で会えることを楽しみにしています。

「一学期の思い出と夏休みの楽しみ」　　三年　澤田　詩

「次こそは　背中を抜いて　一位取る」

一学期を振り返って、わたしが一番の思い出に残っていることは運動会です。特にがんばったことは１００メートル走です。私は一・二年生のときの５０メートル走では、四位でした。くやしかったので次こそはと思い、スタートダッシュの練習を何度もやりました。

本番はドキドキしたけれど全力で走りました。その結果、初めて二位を取ることができて、とってもうれしかったです。最後まであきらめずにがんばってよかったと思いました。

「待ちわびた　思い出つくる　夏休み」

わたしが夏休みに楽しみにしていることは、家族で出かけたりバーベキューをしたりすることです。勉強や運動もしっかりやります。楽しい夏の思い出をたくさんつくりたいと思います。

○、夏季休業は７月２１日（木）～８月２４　日（水）　です。何かあった際は学校（電話７５－２８５１）に連絡くださいますようお願いします。

この歌がいつも一小の子どもの心にあるように

希望のうた　～カワセミのように～

歌碑の完成、除幕式開催

第一小学校は、２０１１年３月の東日本大震災の折、校舎、体育館、校庭すべてが使えなくなり、現在の校舎ができるまで大変だった時期があります。

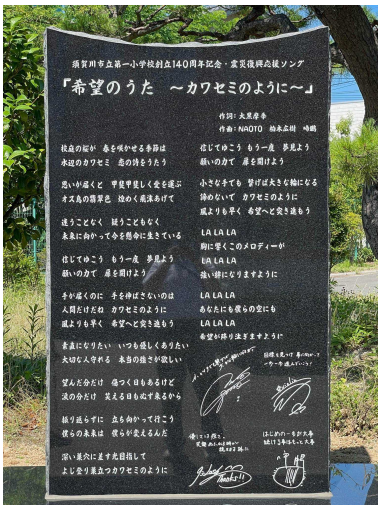
絶望的な気持ちになる中、ＮＡＯＴＯさん、柏木広樹さん、啼鵬さん、大黒摩季さんから一小応援ソング「希望のうた　～カワセミのように～」が届けられ、この歌を支えに当時の子どもたちは頑張り、以来、この歌は第二の校歌として本校の大切な歌になっています。

この度、多くの方の理解と協力を得て、念願の歌碑が完成しました。そして、ＮＡＯＴＯさん、啼鵬さん、来賓の方々臨席のもと除幕式を開催しました。

児童代表　６年　塩田愛琉名さんのあいさつ（抜粋）

「希望のうた」は、私たちがいつも歌っている歌ですが、これは１１年前の東日本大震災の時、校舎がこわれたり校庭がくずれたりして、大変だった第一小学校にＮＡＯＴＯさん、啼鵬さん、柏木広樹さん、大黒摩季さんが、希望と勇気を持ってもらおうと第一小学校に応援ソングとしてプレゼントしてくれた大事な歌です。私は歌詞の「ぼくらの未来はぼくらが変えるんだ」というところが好きです。この先もずっとこの歌を大切にし、歌っていくことを約束します。

▲　除幕式　ＮＡＯＴＯさん、啼鵬さん、歴代校長先生など来賓の方々、６年生一同に記念撮影



▲　完成した歌碑

来賓の方々の挨拶より

○　歌を作ったのはぼくたちですが、この歌は歌い続けているみなさんの歌であり、１０年以上歌い続け、歌を育ててくれていることに逆に感謝しています。これからもずっと歌い続けてくれると嬉しいです。（ヴァイオリニスト　ＮＡＯＴＯさん）

○　学校の中だけでなくこの先の人生の節目でこの歌を思い出し、第一小学校で頑張ったことを思い出してくれればいいなと思います。（編曲家／マルチプレイヤー　啼鵬さん）

○　被災したあの状況から前を向き頑張る勇気をくれたこの歌が、第一小学校の伝統として将来にわたって歌われていくことを期待しています。（震災時第一小学校校長　八木沼智恵子　先生）

心に響いたヴァイオリン、バンドネオンの音色

NAOTOさん　啼鵬さん　圧巻の演奏披露！

第一小学校来校を期に、ＮＡＯＴＯさんは７月１４日（木）に須賀川市文化センターで全校生を対象に、啼鵬さんは７月１１日（月）に学校内桜水ホールで５年生を対象に、それぞれ音楽鑑賞の機会を持ちました。

日本のトップアーティスト二人の演奏に子どもは大満足でした。

―「お礼のことば」などから―

○　ＮＡＯＴＯさん、ＮＡＯＴＯストリングスのみなさん、素敵な演奏をありがとうございました。ぼくはＮＡＯＴＯさんの演奏を「かっこいい」「もっと聞いていたい」と思いました。あっという間の一時間でした。今日の演奏で心に残っているのは「紅蓮華」と「希望の歌」です。今日の演奏を聞いて「音楽っていいなぁ」と思いました。ぼくは今、マーチングバンド部でサックスを演奏しています。ぼくもＮＡＯＴＯさんのように人に感動を与えられるような演奏をしたいと思いました。ぜひまた第一小学校に来てほしいです。（６年　　吉田　　司）

○　啼鵬さんが弾いたバンドネオンという楽器を初めて知りました。ヴァイオリンとバンドネオン、ピアノの音色から色々な世界感が伝わってきてすごく素敵な時間を過ごせて嬉しかったです。（５年　大野　晴日）